

「募集のしおり」をご確認の上、ご記入ください。

様式 1-1 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成申請書（重点テーマ部門）

記入例

2026年11月29日

2027年度 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成 申請書
（重点テーマ部門）

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
会長 田端 浩 殿

申請者

住所	〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 10 階
所属	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
ふりがな	もび たろう
氏名	モビ 太郎

2027 年度 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成を受けて下記のテーマについて研究を実施したいので申請いたします。

記

1. 助成申請事業名	公共交通機関のバリアフリー化を推進させるための調査研究
重点テーマ	サイン ・ 情報 ・ 接遇 ・ モビリティと環境 ↑あてはまるテーマに○をつけてください
2. 助成金要望額	金 1, 521, 850 円
3. 実施期間	2026年4月 ～ 2027年3月
4. 助成金受取方法	☒ ①助成金 ☐ ②その他（ ）

↑
①・②のどちらか選んでください。以上
寄附金等での受け入れをご希望の場合は、事前にご相談ください。

様式 1-2 助成申請者経歴（重点テーマ部門）

ふりがな 氏名	もび たろう モビ 太郎		
勤務先 または所属 及び役職名	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 第一業務部第一業務課 係長		
連絡先	〒112-0004 千代田区文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 10 階 E-mail ecomo@ecomoto.ro.jp TEL 03-5844-6265 FAX 03-5844-6294 ←事務手続き等で連絡ができる場所をご記入ください。		
生年月日	1991 年 1 月 1 日		
学位	機関名 □□大学 学位 博士（☆☆）	取得年 20〇年 専攻 ☆☆専攻	
研究経歴 及び職歴	年月	職名	研究歴及び職歴
	20〇. 4	(株)△△ 調査課	都市マスタープラン等の作成
	20〇. 4	〇〇大学社会工学部助教	交通機関のバリアフリー、住民参加
	20〇. 4	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団課長	交通機関のバリアフリー
主な関連著 書・論文・研 究発表等	著書、発表論文、著者名	掲載誌・巻号等	発表年月
	交通機関のバリアフリーとは	〇〇学会誌 vol132p5-p10	20〇. 03
受賞歴 ・表彰歴	特になし		

様式 1-3 共同研究者経歴（重点テーマ部門） ←共同研究者が2名以上の場合は、適宜追加ください。

ふりがな 氏名					
勤務先 または所属 及び役職名					
連絡先	〒 E-mail TEL FAX				
生年月日					
学位	機関名 学位			取得年 専攻	
研究経歴 及び職歴	年月	職名	研究歴及び職歴		
主な関連著 書・論文・研 究発表等	著書、発表論文、著者名		掲載誌・巻号等		発表年月
受賞歴 ・表彰歴					

様式 1-4 研究計画書

申請助成事業名	
全体の事業期間	年 月～ 年 月 ※事業期間を2年で申請される場合は、希望する期間をご記入ください
事業概要 (200 字程度)	申請する事業内容を <u>200 字程度</u>でご記入ください。
目的・意義	
主な実施手段	実験、アンケート調査、ヒアリング調査、事例調査・分析など主な研究手段をキーワードでご記入ください。
	障害のある方や当事者団体等との連携 (あり ・ なし) ありの場合は、具体的な内容を記入してください (
事業内容の先進性	既往の研究と異なること、既往の研究に比べて新しいことについて分かりやすくご記入ください。
実施手段	フローチャート 全体の研究手順及び、その内今年度に該当する部分をフローチャート等を用いてわかりやすく示してください。 ※事業期間を2年で申請される場合は、2年間の内容をご記入ください。
今後の展開及び成果の活用	最終的に得られる成果の活用方法についてわかりやすくご記入ください。
過去の応募	事業名
年度	本助成制度に過去に応募して不採択になった応募書類を今回再提案した場合は、ご記入ください
本申請事業に関連した内容について他機関への申請状況	
申請先	関連した研究内容へ申請されている(予定を含む)場合は、ご記入ください。
申請事業名	

事業の概要 P1 ページが足りない場合は、適宜追加してください。

キーワード：

研究内容のキーワードとなる言葉をご記入ください。

研究の内容、方法など図、表、写真等を用いながら、具体的に内容が把握できるように作成してください。

※事業期間を2年で申請される場合は、2年間の内容をご記入ください。

審査の際に具体的に議論できるよう、ページ数は指定致しませんので、なるべく詳細な内容で作成してください。

審査の際に参考とするため、申請内容を説明するプレゼン動画もご提出ください。

また、参考となる論文等がありましたら、コピーを添付してください。

様式 1-5 研究費用予定内訳書（重点テーマ部門）

※予定ですので、概算で記入ください。

	金額（円）	内訳
人件費	126,000	アルバイト（データ入力）1,200 円×7h×5 日×3 人＝126,000 円
委託費	280,000	ホームページ作成（80,000 円） アンケート（WEB）調査実施委託（200,000 円）
旅費交通費	90,000	委員会委員実費 1,000 円×10 人×1 回＝30,000 円 学会参加（情報収集のため）40,000 円×2 人＝80,000 円
会議費	52,500	委員会会議室料 10,000×3 回＝30,000 円 委員会茶菓食事代 500×15 人×3 回＝22,500 円
機器備品費		
消耗品費	20,000	アンケート調査用紙、実験調査用紙、トナー代等
印刷製本費	80,000	アンケート調査票印刷費（1000 部） 実験調査用紙印刷費（100 部） 報告書印刷費（100 部）
通信運搬費	220,000	アンケート送付及び返信料（180 円×1,000 部）＋（85 円×200 部）＝197,000 円 実験調査用紙送付（180 円×50 部）＝9,000 円 報告書送付 14,000 円
謝金	400,000	委員会委員謝金 5,000 円×10 人×3 回＝150,000 円 実験被験者謝金 5,000 円×50 人＝250,000 円
図書資料費	15,000	関係書籍購入
論文投稿料	100,000	土木学会、日本福祉のまちづくり学会 ↑ 投稿を予定される学会名をご記入ください。
管理費	138,350	人件費から論文投稿料の合算額に対して 10% ↑ 算定根拠となる規定等をご提出ください。また、算定根拠の内訳をご記入ください。
合計	1,521,850	
自己研究資金	200,000	研究室予算 ↑ 自己研究資金もご使用になる場合のみ、ご記入ください。